

第6学年 年間指導計画(図工 全50時間)

学習の目標	
<p>○造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだす喜びを味わい、様々な表し方や見方に触れ、創造的に表現する態度を育てるようにする。</p> <p>○材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて主題の表し方を構想するとともに、美しさなどを考え、創造表現の能力、デザインや創造的な工作の能力を高めるようにする。</p> <p>○作品などを進んで鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り、感性を高めるとともに、それらを大切にできるようにする。</p>	
学習の方法	
<p>○材料や場所などの特徴をもとに工夫して、楽しい造形活動をするようにする。</p> <p>○見たこと、感じたこと、想像したこと、伝え合いたいことを絵や立体に表現したり、工作に表したりするようにする。</p> <p>○作品などを鑑賞し、それらのよさや美しさに親しむようにする。</p>	
学習の評価	
<p>○4つの観点にそって、どれだけ達成できたかによって評価する。</p> <p>1. 関心・意欲・態度 2. 発想や構想の能力 3. 創造的な技能 4. 鑑賞の能力</p> <p>「よい子のあゆみ」では1～4について総合的に評価の結果をお知らせする。</p> <p>評価の方法は作品だけでなく、製作中の様子や鑑賞後の発表やメモなどで行う。</p>	
単元名	主な学習内容
身近な環境で／自然とともに	身近な場所から発想を広げ、いろいろな材料で空間を変える活動をする。
身近な環境で／いろいろな材料で	身近な場所から発想を広げ、いろいろな材料で空間を変える活動をする。
心にうかぶ夢の世界	自分の心と対話し、自由に想像を広げて絵に表す。
わたしの小さな部屋	自分の気持ちをこめた小さな部屋を想像し、ねん土の板を使ってつくる。
表し方をくふうして	視点や表現方法をくふうして、大切に思う風景を絵に表す。
どんな動きをするのかな／はり金のクランクで	動く仕組みを使って楽しい作品をつくる。
どんな動きをするのかな／カムを使って	動く仕組みを使って楽しい作品をつくる。
心の中の美術館	画家の作品から受けた印象を、自分の形や色で絵に表す。
取り出した形	材料をけずったりみぎがいたりして、立体として美しさや楽しさがある形をつくる。
板から何が	板材の木取りや接合の方法をくふうして、生活の中で長く使えるものをつくる。
表現にこめた思い	作者が作品にこめた思いを想像したり、調べたりしてかん賞する。
墨から感じる形や色	さまざまな方法を試しながら、墨と和紙で絵に表す。
かたまった形	液体ねん土と布でつくり出す形の美しさやおもしろさから発想を広げ、立体的に表現する。
光のハーモニー／カラフルボトル	光の効果を考えて、美しい空間を演出する。
光のハーモニー／ファンタジーワールド	光の効果を考えて、美しい空間を演出する。
想像のつばさを広げて	物語や詩などを味わい、その情景を想像し、表現方法をくふうして絵に表す。
織る、編む、組む／紙バンドで	織る、編む、組むなど昔から伝わる技法を使って、生活の中で使うものをつくる。
織る、編む、組む／毛糸で	織る、編む、組むなど昔から伝わる技法を使って、生活の中で使うものをつくる。
織る、編む、組む／いろいろな材料で	織る、編む、組むなど昔から伝わる技法を使って、生活の中で使うものをつくる。
12年後のわたし	しょう来の自分を想像し、その内容がわかるように場面をくふうして立体に表す。
チャレンジ！ボールコースター	材料の組み合わせや動きの楽しさを考えて、協力してボールコースターをつくる。
ドリームプラン／こんな学校に	夢や願いを伝えるための方法をプランとして作成し、わかりやすくしょうかいする。
ドリームプラン／こんな町に	夢や願いを伝えるための方法をプランとして作成し、わかりやすくしょうかいする。
版を生かして	自分の思いに合った版づくりや刷り方を選んで、試しながら版に表す。
味わってみよう、日本の美術	生活の中で楽しまれたり使われたりしてきた日本の美術を知り、よさを味わう。